



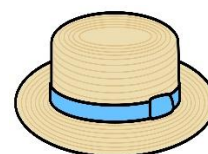
図書館だより

七尾中学校図書館

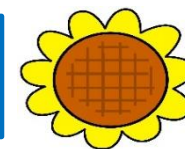
令和7年 7月号

新しく入った本を紹介します。

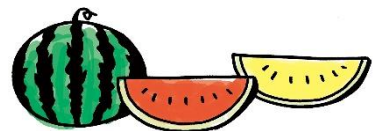
朝読書におすすめの「五分後」シリーズやドラマで話題となった『天久鷹央の推理カルテ』の原作が図書室に入りました。貸し出し中の本は予約ができます。



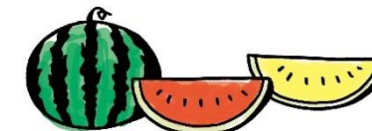
先生方のおすすめ本を読んでみよう！



本の題名と著者名	おすすめする先生	おすすめ理由
『成瀬は天下を取りにいく』 宮島 未奈／著	南先生	読んだら必ず主人公の「成瀬あかり」の大ファンになるはずです。自分もこんな生き方がしたい！と思えるようなステキな物語になっています。
『夢をかなえるゾウ』 水野 敬也／著	寺分先生 中村先生	「成功に近道はない！」「小さな積み重ね」の大切さを実感し、やってみようと思える本です。
『心を整える』 長谷部 誠／著	寺岡先生	ワールドカップでキャプテンを務めた長谷部選手が、勝利をたぐり寄せるために、日々の中でしている56の習慣が紹介されています。スポーツだけでなく、あらゆるシーンで活用できて、ためになるはずです。
『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』 汐見 夏衛／著	多知先生	第二次世界大戦末期の日本にタイムスリップした現代の女子中学生と特攻隊員の青年の恋の行方を描いたラブストーリーです。映画にもなっています。いろいろと考えさせられるストーリーです。
『だるまさん』シリーズ かがくい ひろし／著	遠藤 祐介先生	1歳半の娘のために読み聞かせをしています。工夫して読み方を変えてあげると笑ってくれ、それを見ると笑顔になります。自分の身近に小さい子どもがいる人は読んであげてください。
『ハローキティのニーチェ』 ニーチェ／著	鵜川先生	哲学について、キティちゃんの可愛いイラストと共に学べます。たくさん名言が載っています。私もこれらの言葉を大切に強く生きていきたいものです。
『ありがとう、わたし』 中元 日芽香／著	南先生	アイドルだった中元さんが、自分自身の心の葛藤と向き合い、適応障害を乗り越えて心理カウンセラーになるまでを書いた本です。
『天地創造デザイン部』 蛇蔵, 鈴木ツタ／著	松本先生	デザイナーたちが頑張って生きものを生み出す物語。



夏のおすすめ図書



『光のうつしえ』 朽木 祥／著

(あらすじ)

真夏の夜、元安川に、人々は色とりどりの灯籠を流す。光を揺らしながら、遠い海へと流れていく。68年前の8月6日。広島上空で原子爆弾が炸裂した。そこに暮らしていた人々は、人類が経験したことのない光、熱線、爆風、そして放射能にさらされた。ひとりひとりの人生。ひとりひとりの物語。そのすべてが、一瞬にして消えてしまった。朽木祥が、渾身の力で、祈りをこめて描く代表作。



『青春を山に賭けて』 植村 直己／著

(あらすじ)

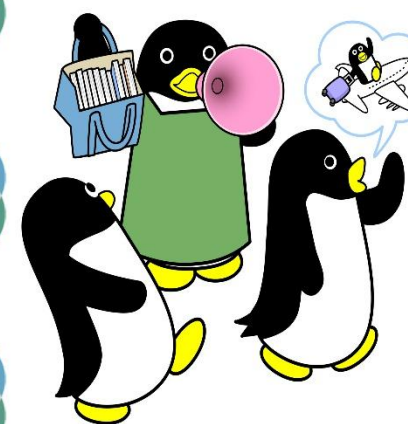
家では手伝いをなまけ、学校では手のつけられないひとりのイタズラ少年が、大学へ進んで、美しい山々と出会った。—大学時代、ドングリとあだ名されていた著者は、無一文で日本を脱出し、ついに五大陸最高峰のすべてに登頂する。大自然の中の「何か」に挑まずにはいられなかった、その型破りの青春を語り尽くした感動篇。



『この夏の星を見る』 辻村 深月／著

(あらすじ)

亜紗は茨城県立砂浦第三高校の二年生。顧問の綿引先生のもと、天文部で活動している。コロナ禍で部活動が次々と制限され、楽しみにしていた合宿も中止になる中、望遠鏡で星を捉えるスピードを競う「スターキャッチコンテスト」も今年は開催できないだろうと悩んでいた。コロナ禍による休校や緊急事態宣言、これまで誰も経験したことのない事態の中で大人たち以上に複雑な思いを抱える中高生たち。しかし、コロナ禍ならではの出会いもあり、リモート会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の生徒たち。哀しさ、優しさ、あたたかさ。人間の感情のすべてがここにある。



「夏休みはどんな本を読もうかな・・・？」と悩んでいる人におすすめしたい3冊！
すてきな読書体験ができる
司書の押し本です！